

1 校訓・教育目標	一人ひとりの強み“大槌（ハンマー）”を育て、地域や社会に貢献できる人材の育成 魅力化コンセプト「大海を航る、大槌（ハンマー）持とう」			
2 ス ク ー ル ・ ポ リ シ ー	(1) 育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	①意志がある（自立） 身のまわりや社会の課題をジブンゴトとして捉え、自己決定できる人材の育成 ②仲間とともにある（協働） 世代や地域、価値観の違いを踏まえて、協働することができる人材の育成 ③逆境から創り出す（創造） 困難な状況を乗り越え、新しい価値を創ることができる人材の育成		
	(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	普通科を改め「地域探究科」を設置したことにもない以下の取組を推進する。 ①三陸みらい探究(総探)、地域みらい学などの学校設定教科・科目の充実。 ②生徒の興味関心に応じた選択科目の設定。 ③研究会やボランティア活動などの社会教育での学びの単位化。 ④「日本版デュアルシステム」の導入をはじめとするキャリア教育の充実。 ⑤リメディアル科目を設定し、高校の学習の基礎となる学力の育成。 ⑥遠隔授業による科目の履修や通信制による単位習得などの検討。		
	(3) 入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	よりよい社会づくりに貢献できる人を育てるため、次のような人を求める。 ◇互いを認め、高め合って協働し、切磋琢磨しながら成長しようとする生徒。 ◇自らの在り方や生き方を探究し、主体的に学び、考え、行動する生徒。 ◇将来、地域や社会に貢献するために日常の学習に前向きに取り組む生徒。 ◇部活動やボランティア活動など、様々な活動にチャレンジしようとする生徒。 ◇大槌の自然環境や地域社会に関心を持ち、未来について考えることができる生徒。		
3 魅力化協働パートナー	大槌町役場・大槌町教育委員会・東京大学大気海洋研究所大槌拠点・認定NPO法人カタリバ・大槌町商工会・大槌町議会・大槌町立学校長会・大槌高校PTA・大槌高校同窓会・千田精密工業・おらが大槌夢広場・大槌学園PTA・吉里吉里学園PTA・おおつちこども園			
4 目 指 す 学 校 像	(1) 今年度の重点目標	重点目標	達成指標	
		ア 生徒の資質・能力の育成	・学校評価「学校での勉強や生活で自分が成長していると感じている」67%以上	
		イ 授業力の向上	・授業評価「学習したことが身についている」75%以上	
		ウ 生徒の進路目標の実現（キャリア教育の充実）	・就職・進学100%達成 ・国公立大学5名	
		エ 生徒指導の充実（生徒会活動と校則検討委員会の推進）	・学校評価「学校の生活指導や校則検討などの取り組みに賛同できる」75%以上	
		オ 教育相談・いじめ対策の連携強化	・学校評価「学校の雰囲気が良く、生徒が生き生きしている」80%	
		カ 不適切な指導を根絶する体制を組織として構築	・学校評価「安心して学校生活を送ることができる」80%以上	
	(2) 取組方針	ア 生徒の資質・能力の育成	(ア) 総合的な探究の時間（マイプロジェクト）による資質・能力の育成を図る。	
		(イ) 個別最適科目、探究科目、研究会活動による資質・能力の育成を図る。		
		イ 授業力の向上	(イ) 数学、英語をはじめとする個別最適科目や探究科目の円滑実施。	
		(イ) 授業研修、他校視察を実施し、効果的な指導方法について情報交換する。		
		ウ 生徒の進路目標の実現（キャリア教育の充実）	(ウ) 進路指導課を中心としたきめ細やかな指導の充実	
		(イ) 進路別に対応したガイダンスや模試、インターンシップの実施		
エ 生徒指導の充実（生徒会活動と校則検討委員会の推進）	(エ) 生徒会による行事の見直しや、地域と連携した活動を模索する。			
(イ) 「生徒宣言」の再認識と生徒自身による校則の検討を進める。				
オ 教育相談・いじめ対策の連携強化	(オ) 定期的かつ緊急的に会議を開催し、職員間での情報共有を図る。			
(イ) いじめや学校不適応の未然防止を図り、いじめ問題に迅速に対応する。				
カ 不適切な指導を根絶する体制を組織として構築	(カ) 全教職員がこども基本法の理解のもとに、人権を尊重した指導を行う。			
(イ) 定期的に研修会等を開催し、指導の透明性を高め振返りを実施する。				